

NO! リニア

No. 101

2017年10月11日

JR東海労働組合

「嚴重に抗議し猛省を促したい！」 リニア工事で静岡県知事が表明

川勝静岡県知事は10月10日の定例記者会見で、リニア中央新幹線建設による大井川の下流利水者が流量減少対策を明記した基本協定が未だに結ばれていないことについて、「嚴重に抗議し猛省を促したい」と表明したことが、10月11日付『静岡新聞』で明らかにされました。

知事は、JR東海が減少する流量の全量を川に戻すことを明言していないとし、「極めて傲慢。協定を結ぶべきではない」と表明しました。また知事は、建設計画に触れ、「しっかりとした説明がないままルートが設定されるのは、本県（静岡県）にとっては全くメリットがない。JR東海への協力は難しい」と苦言を呈しました。

JR東海は、施工業者の公募を6月に始め、着工の準備を進めていますが、利水者との協定は先延ばしとしています。つまり、住民の生活対策をおろそかにして、工事を優先しているのです。この姿勢こそ、建設ありきではないでしょうか。また、このような状況を考えた場合、利水者の生活が破壊される可能性が非常に高いと判断できるのではないのでしょうか。

JR東海労は、リニア中央新幹線建設の中止を求めて、さらに闘います。